

令和5年度学校評価（保護者・児童・教職員自己評価アンケート）の結果について

仲冬の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、年間を通して本校の教育活動にご理解ご協力をいただきましたこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

昨年度に引き続き、今年度も「すぐーる」アンケートによる形で保護者の皆様に学校評価アンケートを募らせていただきました。経年比較のために内容は、できるだけ同じものにしておりますが、本年度新たに設定した項目もございます。また、児童用アンケートは内容を理解しやすいように文言に変えて調査しました。

<表中の数字について>

「とてもそう思う：4」「まあそう思う：3」「あまりそう思わない：2」「全くそう思わない：1」とし、全体の回答の平均値を表したものです。

<Ⅰ やさしい子>

	評価項目	保護者			児童			教員
		R3	R4	R5	R3	R4	R5	R5
①	他人を思いやる心が育っているか。	3.4	3.3	3.4	3.6	3.7	3.6	3.1
②	社会生活に必要な協力・責任などの道徳性が育っていますか。	3.2	3.2	3.2	3.4	3.5	3.4	3.1
③	よい友達関係ができていますか。	3.3	3.2	3.3	3.5	3.7	3.5	3.3
④	違う学年の友達と遊んでいますか。				2.9	3.1	3.1	2.8

他の項目や設問の結果と比較しても、例年数値の高い分野です。児童の自己評価で、「他人へ優しくできている」と回答している割合が高い点は、道徳教育や日頃の学級活動の成果と捉えています。友達関係については、93%の児童が「おおむね良好：A+B」と回答していますが、そう回答しなかった7%の児童に関してははっきり丁寧に関わっていく必要を感じます。学校生活の基盤となる友人関係については、今後も学校と家庭が連絡を密にとり、情報を共有していきたいと考えます。

<Ⅱ かんがえる子>

①	きまりを守り善悪を判断し行動できるようになってきましたか。	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	2.9
②	学校の勉強が楽しそうですか。	2.8	2.9	2.9	3.2	3.3	3.2	3.4
③	学校の勉強をよく理解していますか。	2.9	2.8	3.0	3.3	3.4	3.3	3.5
④	本を読むことが好きですか。	2.7	2.7	2.7	3.1	3.3	3.0	2.6

学習に関する項目は、保護者<児童<教員 の順で評価が高くなっています。本校の重点目標の一つである「学力向上」の取り組みは、まだまだ途上ではありますが、子どもたちの「学びに向かう姿勢」には変化を感じています。学習に関する回答は、学年が上がるにつれて低い評価になりがちですが、本校では高学年でも「楽しい」「分かる」と回答する割合が高くなっています。この部分を大事に今後も指導に工夫を加えながら進めていきたいと思います。

<Ⅲ たくましい子>



	評価項目	保護者			児童			教員
		R3	R4	R5	R2	R3	R5	R5
①	進んで体力づくりに取り組もうとしていますか。	2.7	2.7	2.8	3.2	3.3	3.2	2.7
②	交通安全の意識が高まっていますか。	3.2	3.3	3.3	3.5	3.6	3.4	3.1
③	粘り強く取り組む姿勢が見られるようになってきていますか。	2.8	2.7	2.8	3.3	3.4	3.3	3.1

本校児童の運動能力の実態は決して高くはなく、本年度もその対策としてリズム縄跳びや鉄棒週間などのイベントなどを推進しています。楽しく体を動かすことも大きなねらいですが、練習を重ねた後に達成する喜びを知ってほしいという願いがあります。本校の学区には大きな道路がいくつもあり、交通安全については日ごろから繰り返し指導をしていますが、残念ながら事故も発生しています。安全に対する意識付けについては、繰り返し伝えていく必要がありますので、ご家庭でも定期的に話題にしていいただければ幸いです。

<4 家庭・地域との連携>

①	早寝、早起き、朝ごはんの習慣が身に付いていますか。	3.1	2.9	3.0	3.2	3.2	3.1	3.0
②	家で学習する習慣が身に付いていますか。	2.7	2.7	2.8	3.1	3.1	3.1	2.8
③	学校は、地域や家庭と連携をとって教育を進めていると思いますか。	2.9	2.9	3.0	/			3.0
④	家庭で進んでお手伝いをしていますか。	2.8	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	/

早寝早起き朝ごはんの習慣についての回答は、学年によって大きな差が見られました。発達段階によって少しずつ就寝時間が遅くなることは理解できますが、起床時間や朝食の習慣はその日の活動を左右する大きな要素です。ぜひご家庭の協力をいただきたいところです。家庭学習については、教員側において実施した「家庭学習が習慣化するように努めたか」(昨年度比-0.4 ポイント) は、教員側の今後の課題となりそうです。家庭学習の習慣化は非常に重要な部分であり、学校、子ども、家庭の間で共通理解をより確かにしていくことが必要であると感じます。

<Ⅴ 合言葉 み・そ・あ・じ>

①	身(み) だしなみなどに気をつけて生活していますか。	3.0	3.1	3.1	3.3	3.4	3.4	2.6
②	部屋の整頓や(そ) うじなど、自分できちんとしていますか。	2.4	2.5	2.4	3.1	3.2	3.1	3.1
③	おはよう、(あ) りがとうなど、元気なあいさつができていますか。	3.1	3.1	3.3	3.3	3.4	3.4	3.0
④	時間(じかん) を大切に、規則正しい生活をしていますか。	2.9	2.7	2.9	3.1	3.3	3.3	3.1

学校生活における基本的な生活の約束事を、子どもたちの中に定着させたいと日々取り組んでいますが、今回、あいさつに関する項目で三者から高い数値が示されたことは、子どもの意識が行動へと結びついてきた結果と考えます。学校は個々が学習するだけの場ではありません。集団生活の中で学ぶことは、社会生活の基盤をつくるものと繋がっています。日常の指導や声かけを継続しながら、一人一人が社会の中でよりよく生きていくための指導を継続していきたいと思えます。

<VI その他の項目> 保：保護者への質問 児：児童への質問 教：教員への質問

	評価項目	保護者			児童			教員
		R3	R4	R5	R2	R3	R5	R5
①	保・児：楽しく学校生活を送っていますか。 教：楽しく学ぶことができる学級づくりに努めましたか。	3.4	3.3	3.4	3.5	3.6	3.4	3.6
②	保：学年だよりや学校HP等で、学校や学級の状況が家庭に伝わっていますか。 児：先生に何でも相談できますか。	3.2	3.2	3.2	/	3.1	2.9	/
③	保・教：学校は、子供の健康や安全、事故防止のための配慮をしていますか。 児：学校では安心安全に過ごすことができていますか。	3.2	3.1	3.3	3.5	3.5	3.4	3.7
④	児：先生はあなたの頑張ったことをほめてくれますか。	/	/	/	3.6	3.5	3.3	/
⑤	保：お子さんの自己肯定感についてどう感じていますか。 児：あなたは自分のことが好きですか。	/	2.9	2.9	2.8	2.9	2.9	/

相談する相手は複数選択してもよいとした。数字の単位は（人） SC：スクールカウンセラー		担任	校内の 他の先生	SC	友達	家族	相談 しない	その他
⑥	保：お子さんのことを主に誰に相談していますか。	101	9	1			14	0
	児：悩みを誰に相談しますか。	108	66	16	165	166	60	20

「学校で楽しく過ごせていますか」の質問には、多くの児童が肯定的な回答を寄せていますが、全国的に不登校や登校しぶりの児童が増加していることを考えると、家庭と学校が予防的な見地で協力していくことが必要ではないかと考えます。自己肯定感に関しては、期せずして保護者の評価と児童の評価が一致していますが、学校でも家庭でも意識して子どもの良い点に目を向けて言葉がけをしていくことが必要であると考えます。

<まとめ>

今回記載した内容は、アンケート結果を分析したものの一部です。児童からの回答は、学年別学級別に今後丁寧に見取り、指導の改善に役立てて参ります。また、保護者の皆様の思いを受け止めながら来年度の教育課程の編成に生かしていきたいと思ひます。